

[バイヤーズガイド]

NAVI

マーケットウォッチ

—2018年・最新更新版—



最新のイチ押し新製品はもちろん、実はラインアップ全体で、そのレベルは大きく引き上げられている。それが、カーエレクトロニクス製品のなかでも最も成熟したジャンル、NAVIの現状だ。そこで今回は、最も人気が高いブランド“御三家”のラインアップ全体を俯瞰で見るとともに、いざ購入する際に役立つ周辺機器の見所を生レポート。2018年を見据えた最新更新版だ。

買う前に読む。購入前の事前予習

個性派モデルと
コスバ機が、群雄割拠!

2017年に発表されたAV一体型ナビが、概ねすべて、発売開始となつている。さて、今、買入であるのはどれなのか……。そのところを見極めていただくべく、当特集を展開する。

当特集では全体を俯瞰しつつ、見極めるべきポイントとして主に以下の2点を明らかにしていく。1つは、「フラッグシップ機のスペシャリティ」、そしてもう1つは「スタンダード機のコストパフォーマンス」。

というのも、昨今のAV一体型ナビのトレンドとして目立つのが、「個性派モデルの増加」と「コスバ機の拡大」、以上の2点。であるので、上位モデルを狙うなら「スペシャリティ」を見極めることで買うべきモデルが見えてくる。お手軽なモデルを探したい場合には、各機の「コスバ度合い」を把握すること、というわけなのだ。



カロッツェリア「楽ナビ」のハードキーには凹凸が付けられていて、運転中も触感での操作が可能だ。使いやすさへの配慮が行き届いている。

なお、「コスバ機の拡大」は特に、その傾向がますます顕著だ。例えば、カロッツェリアのスタンダードグレード「楽ナビ」を見てみよう。



クルマの中には音響に不利な条件が多々ある。カロッツェリアの「楽ナビ」は、写真の「かんたんベース設定」等の音質調整機能も搭載し、それらに対処することが可能だ。

当機の場合は、カロッツェリアならではの、自車位置精度の高さ、プロップ情報を活用した高度な渋滞予測等々を実現し、とにかくにも基本性能が充実している。にも関わらず、価格はお手頃。7型モデルであれば上位機種でも実売価格が8万円台半ばで、最ベーシック機ともなると5万円台(オプション価格なので、あくまでも目安)でありながら、基本性能がしっかりと担保されているのだ。

さて、このようになります。状況を呈しているAV一体型ナビ市場。お使いのナビの型落ちが気になり始めているのなら、そろそろ買い替えを検討し始めてはいかがだろうか。最新機種には、確かな満足が得られるモデルが多々、存在している。